

## 宮古島市の健全化判断比率

宮古島市の平成27年度決算に基づく各数値は…

○「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」のいずれの指標も早期健全化基準(イエローカード)を下回る水準、「資金不足比率」の指標は、経営健全化基準を下回る水準となっており、健全であるといえます。

指標	宮古島市		早期健全化基準	財政再生基準	備考
	平成27年度	平成26年度			
①実質赤字比率	—	—	12.52%	20.0%	一般会計等の実質収支は約12.7億円の黒字となっています。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。
②連結実質赤字比率	—	—	17.52%	30.0%	全会計の実質収支は、約21.9億円の黒字となっています。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。
③実質公債費比率	7.4%	7.7%	25.0%	35.0%	【0.3ポイント改善】 特別会計を含む市全体の元利償還金の減が主な要因です。
④将来負担比率	17.8%	30.9%	350.0%		【13.1ポイント改善】 基金等充当可能財源の増が主な要因です。
⑤資金不足比率	—	—	経営健全化基準 20.0%		公営企業会計毎の資金不足額の事業規模に対する比率です。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。

### ○早期健全化基準

健全化判断比率の4指標(①～④)のうち、いずれかが早期健全化基準以上となった場合は、財政健全化計画を策定し、自主的かつ計画的に財政の健全化に取り組むこととなります。

### ○財政再生基準

「将来負担比率」を除く健全化判断比率の3指標(①～③)のうち、いずれかが財政再生基準以上となった場合は、財政再生計画を策定し、国等の監督の下、確実な財政再建に取り組むこととなります。

## 宮古島市の実質収支・連結実質収支の状況

約12.7億円  
の黒字

(単位:千円)

区分	対象会計		実質収支額		
			平成27年度	平成26年度	増減(H27-H26)
実施赤字比率の対象	①	一般会計等 (新技術特別会計含む)	1,278,522	1,433,834	△ 155,312
	②	国民健康保険事業 特別会計	0	5,438	△ 5,438
	③	介護保険特別会計	40,609	0	40,609
	④	後期高齢者医療 特別会計	1	10,102	△ 10,101
	⑤	水道事業会計	792,730	647,020	145,710
	⑥	公共下水道事業 特別会計	5,234	0	5,234
	⑦	農漁業集落排水事業 特別会計	0	0	0
	⑧	港湾事業特別会計	1	31,013	△ 31,012
	⑨	土地区画整理事業特別 会計	73,479	1,007	72,472
計(①~⑨)		連結では約21.9億 円の黒字	2,190,576	2,128,414	62,162
⑩ 標準財政規模			19,479,270	19,016,423	462,847
実質赤字比率(%) : ①/⑩			△6.56%	△7.54%	0.98%
連結実質赤字比率(%) : (①~⑨)/⑩			△11.25%	△11.19%	△0.06%

実際の報告様式に基づき「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は負の値で表示されていますが、黒字であることを意味しています。